



# 落穂会だより

春季号 2011.4

社会福祉法人 落穂会  
 知的障害児施設 あさひが丘学園 (Tel 238-4821) <http://www.asahigaokagakuen.jp/>  
 障害者支援施設 あさひが丘 (Tel 238-4821) <http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/>  
 知的障害者授産施設 旭福祉センター (Tel 244-3551)  
 知的障害者通所授産施設 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)



平成23年3月 旭福祉センターグループホーム「さくらさくら」完成!

## 地域生活を支えるために



あさひが丘学園 地域支援室長  
水流 恭史

「ノーマライゼーション」(障害を持っていても地域社会の中で普通の暮らしを実現しようという理念)という言葉が聞かれはじめて、三十年ほどが経つのではないだろうか。旧来の入所型施設中心の福祉サービスから、自宅やグループホームで、ノーマル(普通)に近い生活を支援できる福祉サービスを目指すものです。

今日では、生活場面を支援するグループホームや活動場面を支援する就労・日中活動の様々な事業、その他にもホームヘルプサービスなど、障害を持つ人の地域生活を支援するためのサービスがたくさん整備されてきました。施設入所か在宅かという二者択一であった頃からすると大きな進歩です。障害を持つ人の生活も、選択肢が増えてきたと言えるでしょう。

しかし、どれだけの人々が地域で生活できているか、また、安定した地域生活を送れているかというのを考えると、まだ、一部の人だけが達成できていることのように思えます。それだけ地域で生活すること、その生活を支援していくことは容易ではないのかもしれない。

これから私たちが障害を持つ人の地域生活を支えるためには、生活の場を提供したり、活動の場を提供したりするだけではなく、地域で安心して生活できるような、あるいは安定した生活を継続できるような仕組みを作り上げていくことが必要かと思えます。そのためには、一人の人に多くの人が支えとなって関わられるようになっていくことを目指していきたいです。私たちはどの部分の支えとなることができるのかを確認しながら、支援していきたいと思えます。

最後になりましたが、障害があろうとなかろうと一人ひとりが一度きりの大事な人生を一日一日過ごしています。そのことを忘れずに、日々の支援にあたっていききたいものです。

### 新入所者紹介

◆あさひが丘学園 児童部  
 緒方 章さん  
 色々できるようになったり友達を一杯作れるようになりたいです。

◆旭福祉センター  
 金城 裕也さん  
 ぼくは、やさいふくろづめとタオル作業をがんばります。

◆あさひが丘学園 成人部  
 橋本 隆さん  
 (自宅)  
 吉留 僚一さん  
 僕は、友だちたくさん作って作業をがんばります。

### 退所者

◆あさひが丘学園 児童部  
 金城 裕也さん  
 (旭福祉センター)  
 ◆あさひが丘学園 成人部  
 橋本 隆さん  
 (自宅)

### 新任職員紹介

◆あさひが丘学園 児童部  
 茶屋 知博 保育士  
 利用者、地域のため、自分のできることを精一杯頑張ります。

◆旭福祉センター  
 宮田 知美 保育士  
 職員一人として日々成長していきたいです。宜しくお願いします。

◆あさひが丘学園 成人部  
 坂元 浩平 保育士  
 いつも明るく元気に利用者者と関わり、支援していきます。宜しくお願いします。

◆旭福祉センター  
 宇都口 真矢 保育士  
 日々笑顔をつたえたいです。宜しくお願いします。

◆あさひが丘学園 成人部  
 外屋敷 梨紗 事務員  
 自分に来ることを一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。

### ◆障害者支援施設 あさひが丘

安田 花子 支援員  
 自分のできることを精一杯頑張ります。宜しくお願いします。

◆旭福祉センター  
 福元 龍一郎 支援員  
 少しでも早く多くの利用者の方に顔と名前をおぼえていただけるよう頑張ります。

◆旭福祉センター  
 内田 志奈子 支援員  
 笑顔忘れず多くのことを学べるよう頑張りたいと思います。

◆旭福祉センター  
 成政 紗紀 支援員  
 笑顔忘れず、利用者の方と共に成長していきたいです。

◆旭福祉センター  
 有馬 拓也 支援員  
 どんな時でも笑顔忘れずに、利用者と一緒に頑張りたいです。

◆旭福祉センター  
 中原 麻衣子 支援員  
 学ぶ気持ち忘れず、利用者の方と一緒に頑張りたいです。

### 編集後記

三月十一日に発生しました東日本大震災は東北地方を中心にきわめて広い地域にわたって未曾有の被害をもたらしました。

「人は、みんなのために。みんなは一人のために。」こんな時だからこそ自分ができることは何かを考え行動してみたいと思います。お亡くなりなられた方々のご冥福と、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。(U)

◆旭福祉センター  
 村尾 朋子 事務  
 まだ慣れないことばかりですが、一所懸命頑張りたいと思います。

◆旭福祉センター  
 野元 恵里香 支援員  
 皆さんの名前を早く覚えて沢山コミュニケーションをとりたいです。

◆旭福祉センター  
 竹中 由希子 栄養士  
 皆さんに喜んで食べて頂ける食事を提供できるように頑張ります。



# 平成二十三年度 運営方針

## あさひが丘学園 旭福祉センター

### ◆あさひが丘学園

園長 水流 純 大

昨年は、障害者自立支援法に代わる新たな制度として「障がい者総合福祉法」の制定が検討される一方で、障害者自立支援法の改正法案が成立し、平成二十四年四月より施行されることとなった。改正法による制度変更と新制度の検討状況を見極めながら、今年度は下記の事項を重点目標に掲げ事業を推進する。

- ① 利用者の個別ニーズを的確に把握し、そのニーズに応じたサービスの提供が行えるような専門的支援技術の向上を図る。
- ② 入所利用者の生活の質を向上させる取り組みを推進する。
- ③ 新体系事業（生活介護）に移行す

る日中活動を充実させる。

- ④ 在宅サービスの業務推進体制を整え、安定したサービス提供を行うとともに、地域の関係機関との連携を深め、利用者の増大を図る。
- ⑤ 職員研修を充実させるとともに、面接の機会を活用し、職員の人材育成を推進する。

- ⑥ 平成二十四年四月開設予定の地域生活支援センターの開設準備を行う。児童デイサービス、就労継続支援

B型、居宅介護・行動援護・移動支援等訪問系サービス、日中一時支援、相談支援、グループホーム・ケアホーム支援等の機能を持たせ、地域における障害児者支援の拠点となることを標榜する「地域生活支援センター」の開設準備を行う。

以上があさひが丘学園の平成二十三年度の運営方針と重点目標である。

### ◆旭福祉センター

第二旭福祉センター施設長 水流 健 一

政権交代後、民主党政権は障害者自立支援法を廃止し、二十五年八月に『障がい者総合福祉法』を示すと明言している。今後も障害者施策の動向に目が離せない状況が続くであろう。折りしも、新事業体系に移行した第二旭福祉センター（通所）は移行三年目を迎え、新事業の充実が目標となる。また、平成二十三年十二月に移行予定の旭福祉センター（入所）の移行準備も控えている。これらの目標達成に向け、職員が一丸となつて業務に挑むことを最大のテーマとし、以下に今年度の重点目標を掲げる。

- ① 利用者のニーズに合わせた支援の提供
- ② 新事業の安定と入所の新体系移行準備

新体系移行により事務の会計基準や支援計画書の変更など、個人が受け持つ業務が増大した。よって、今期は各個人の業務が確実に遂行されるよう早期の計画立案と実施を目指す。また、入所の平成二十三年十二月新体系移行を目標に掲げ、適切な準備を図る。

- ③ 職員の育成システムを確立する。就労を主体とする当センターは、利用者支援の援助技術および作業の専門技術の向上が業務の両輪となる。よって援助技術・作業技術両面におけるスキル向上を目指し、職員研修の充実・個々のスキルアップを目標とした、新たな人材育成システムを構築する。
- ④ 人事制度の適切な運用

- ⑤ 地域密着型の施設サービス推進
- ⑥ 製販計画の達成

世界的な不況の波は長期化が予測される。今年度は更なる効率化と役割分担の明確化を促進し、職員が一丸となり製販計画の達成を目指す。以上が旭福祉センターの平成二十三年度経営方針である。

### あさひが丘学園

#### ・利用者健康診断

二月十五日（火）に、利用者健康診断を行いました。今回で、二回目の健康診断となります。二十歳以上の入所利用者を対象に六十四名の方が受けました。胸部レントゲン、血液検査、心電図など九項目を行いました。

#### ・テーマ別研修 「知的障害者の就労支援について」

二月十六日（水）に、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 鹿児島障害者職業センター 主任カウンセラー 余野木琢也氏による「知的障害者の就労支援について」の講演に、四十七名（職員三十九名、一般受講者三名、実習生五名）が参加しました。講演内容は、①障害者職業センターの紹介、②民間企業における知的障害者の就職状況、③障害者の企業就労を支援する関係機関、④知的障害者の障害特性と職業的課題、⑤知的障害者の就労支援事例などについてわかりやすく説明していただきました。

#### ・日中活動参観、保護者・職員懇談

二月十九日（土）に、日中活動参観が開催されました。当日は、二十七家族三十名の保護者家族が来園され一緒に活動へ参加してもらいま

た。日中活動参観後は、三階会議室で一年間の活動の様子をスライドで紹介し、その後は意見交換会を行いました。ありがとうございました。活動の様子は、スナップスナップのページで紹介しています。

夜は、保護者職員懇談会が行われました。今回で三回目の開催となる懇談会には、ご家族、職員合わせて三十九名の参加がありました。日頃ゆつくりと話すことができないご家族から子どもたちへかける愛情や思い願ひなども聴くことができました。日中活動参観、懇談会への参加協力ありがとうございました。

#### ・カラオケ機材の寄贈

三月三日（木）に、あさひが丘学園保護者会と嘱託医の新井先生より、カラオケ機材を寄贈していただきました。以前より、カラオケ機材があればという思いもあり今回の寄贈に利用者の方々、職員ともども嬉しく思っています。さつそく練習にと利用者の方々とカラオケを楽しみました。ありがとうございました。

### 旭福祉センター

#### ・自治会活動

自分たちで役員を立てて活動を始めて二年が経ちました。二年を区切り新しく役員を決めることになり、十二月中旬に役員改選を行いました。今まで会長、副会長、書記の三名で

自治会を進めてきましたが、新たに副会長を一名加え、四名の役員で自治会を進めていこうという話になりました。役員改選を行うことになりました。立候補者は六名。利用者の皆さんは初めての自治会役員選挙に少々戸惑いや緊張もあつたようですが、真剣な表情で投票用紙に記入をしていました。

六名の立候補者の中から、新副会長に萩元さんが選ばれました。四月からは、会長に畦浦さん、副会長に三原さん、萩元さん、書記に上山さんの四名の役員を中心に自治会活動を行っていきます。これからも利用者から挙がったさまざまな議題について話し合い、よりよい自治会活動を目指して頑張っていきたいと思っております。

#### ・授産研修を通じて

一月十一日から十四日までの四日間、旭福祉センターにて授産研修に参加させていただきました。

今回、蔬菜とメンテナンス事業を中心に勉強させていただきましたが、まず感じたことは、職員の方々の仕事に対する熱意でした。センター職員の方々は常に「利用者の工賃を少しでも上げたい」という思いから必要な資格の取得をはじめ、通常業務を行いながら更に学校等にも通い知識と技術の向上に努めている姿を拝見し、自分が果たして、どれだけ仕事に責任感と熱意を持って取り組ん

でいるのか改めて考えさせられる貴重な研修でした。

今回、授産研修で学んだことを生かし、まず自分が意識を変え少しでも多くの工賃を支払うことができるようになることにも、利用者の皆さんが日々充実した授産活動が送れるように向上心を持って業務に取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、旭福祉センター施設長はじめ、職員の皆様にはご多忙の中、貴重な研修をさせていただいた事を厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

#### （障害者支援センター）うめの里 職業指導員 松木園 貴

#### ・花かごしま2011にセンターで育てた元気な花苗出展

三月十八日から開催されている、「花かごしま2011」に旭福祉センターで育てた花を出展することになりました。

三月の初旬に千ポットを納品しました。その中には、丸くて、かわいらしいボールのようなデージーや、トランペットのラッパの部分によく似ていて、小さなアサガオのようなペチュニアを納品しました。

どの花もセンターの班の皆さんが毎日一生懸命手入れをして育てた花達です。春の透き通った青空で元気に咲いてくれることと思います。



### あの日の言葉

さんぽみち



旭福祉センター 利用者  
横山 文宏

初めまして横山です。旭福祉センターに通って三年目になります。元々は会社員として務めていた時期がありました。ここまでやってこれたのは、ある友達のおかげだと思っています。それは訓練学校での男友達です。いつも休みの日には遊びに行ったり、一緒に僕の家で過ごしたりしました。男友達はいつも芸能人の柳葉さんのマネをしていました。ある映画のせりふを僕に言ってくれました。その言葉は「上に行かなくても偉くなれる」と言う事です。人は誰でも見栄を張ったり、欲を出したがりません。この言葉を聞いて、一呼吸置いて肩の力を抜くことが出来ました。人の脳内はやっていることをすくにわすれるような仕組みになっているそうです。



みなさんも、親の恩や家族の恩などを忘れないようにしましょう。ありがとうございます。気持ちが大切です。温かい給湯室の様な雰囲気です。

### 笑顔

後僕もやっていきたいです。



あさひが丘学園 保護者  
東 真理子

麻奈美が、あさひが丘学園にお世話になって、二十八年になります。話になって、二十八年になります。二十八年間、親から離れて生活している麻奈美に、やさしく接して下さる先生達に「ありがとう」と、いつも心の中で感謝しています。

この二十八年の中で忘れられることのない一日が、あの鹿児島の中豪雨災害です。二、三日後に、夏休み帰省のため学園まで麻奈美を迎えに行く途中の道路が、あちこちで寸断され、やっと学園へたどり着いた事でした。

さて我が家での麻奈美は、隣に住む兄達家族四人に一人づつお辞儀をして、握手して、言葉は話せないけど「久しぶり」「会えて嬉しい」と言っているようです。



近所に住む祖父や、祖母に会った時も、すごくニコニコ笑顔で、寄って行くので、皆も笑顔になります。麻奈美が生まれたのは、

### 家族の大切さ



あさひが丘学園 職員  
濱田 絵里佳

六月の、父の日でした。三才になる一カ月前までは、とてもお喋りで、元気な女の子でした。高熱で倒れるまでは。今は、歩行の調子が悪い時もあるけど、あせらず、一歩づつマイペースで笑顔を忘れないで、今年も桜の木の下で、お花見しましょう！

いつもそばに当たり前のようにある家族。忙しい日々を過ごしているとその大切さは忘れがちになるものです。親の愛情や兄弟のさりげない優しさ、みんなで食べるご飯の美味しさ等、当たり前ものの大切さに離れて気づくことが多いと思います。

私は、4人兄弟の6人家族の中で生まれ育ち、幼い頃からいつも誰かが側にいて当たり前だと思いつつも、過ぎてきました。

そんな私も6年前、就職を機に実家を離れて一人暮らしを始めました。一人が嫌いで淋しがり屋、しかも負けず嫌いで弱音を吐けない私を支えたものが2つあります。

1つは、定期的に届く親からの「生きてますか？仕事がんばって。」と短い内容のメールです。味気なく、しかもほぼ毎回同じですが、メール

が苦手な親が一生懸命メールを打ってくれている姿が浮かび、どんな励ましよりも嬉しく、逆に泣けてしまったのを今でも覚えています。どちらかというところから放り投げられていた私ですが、離れて生活するようになって改めて親からの愛情に気づかされました。

もう1つは、学園で過ごす時間です。みんなで一緒にご飯を食べたり、走り回ったり、大きな声で笑ったり、時にはケンカしたりといった家族の中にあるような当たり前の光景に学園での時間を「第二の家族」と勝手に決め込んで安心感を覚え、居心地がよく、自然と学園で過ごす時間が長くなったような気がします。

そんな中、ここ2、3年で保護者の方と話す機会も増え、利用者の方への思いに触れる機会や利用者の方々のご家族と会った時の嬉しそうな恥ずかしそうな最高の表情をみることも多くあり、「ご家族の思いには敵わないし、利用者の方にとってもご家族が一番なんだな」と実感しています。

離れていても、かけがえのない大切な家族。楽しいことも苦しいことも、自分自身の色々な感情全てを受け止めてもらえる、そんなかけがえのない居場所を大切にしたいと思うようになった今日この頃です。また、利用者の方にとって学園もそんな居場所の一つとなるように未熟ながらも精一杯努めたいと思いました。

今日は、花苗班にインタビューしてきました。

※こんにちは

※ここは何を育てているんですか

※「花を育てているよ」

※どんな作業をしているのですか

※「玉肥料を入れる作業をしていますよ。後はポットに土も入れてるよ」

※玉肥料って何ですか？



職員「玉肥料は、小さい白い玉の肥料で、花苗が大きくなるように一回で四個ほどいれます」

「あたしも中島君と同じ作業だよ。ポット洗いと枯葉取りもしている。枯葉取りはね、難しいんだ。花までとってしまっ」

※何で花までとってしまったのですか？

※「ハサミを使っていたから花まできってしまったの。でも、手で枯葉を取ったら、あまり失敗しなくなっただよ」

※「僕はね、水やりの時に使うホースを巻いているよ。長いホースを引張ってきれいに巻けるよ。濯水は中島君がするんだよ」

※長いホースを一人で巻けるなんて力持ちですね。みなさん、花を育てるためにはいろんな作業があるので、すね。ちなみに、どの作業が一番好きですか

※「たいひのタマを取る作業が好き」

※たいひのタマを取る作業とは何のことですか？

職員「たいひをふるいでふるって、ふるいに残った物使えるように、タマをとってもらうんです」

※「枯葉取りは嫌いだけど、玉肥料とポットに土を入れる作業が好き」

※あれ？大園さんも言っていたけど、枯葉取りは作業の中で一番人気が無いみたいですね

※「他の作業の方が好きだからかなあ」

※みなさんそれぞれ好きな作業があるんですね。色とりどりの花が並んでいますが、皆さんの好きな花は何ですか

※「レイジ。ピンク色がきれい」

※「あたしも」

※「他には、パンジーとビオラも好きだよ」

※みなさんそれぞれ好きな花があるんですね。この作業場では花を育てていますか

※「あたしはね、イチゴとかみかんを育ててみたいな」

※「もったいないから食べないよ」

※「大園さん食べ物大好きなのに(笑)」

※「大園さん食べ物大好きなのに(笑)」

※「作業場ではいつも食べ物の話をよくしているよ」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

※「行く」

※「僕の家では、キャベツ・はくさい・人参・大根を育てているよ」

※高木さんのおうちは自家製の野菜であふれているんですね。みなさん育てたいものがあるいろいろな花をだすようですが見に行くのですか

↓枯葉取りに夢中！?



たい肥を入れていきます↓



花苗班の仲間たち↓



→笠沙恵比寿で昼食です。



### 日帰り旅行



←木琴で何を奏でているのかな？

→花がごしま。べりぶーの前で



### 旭福祉センター



←食事もカラオケも楽しかったです。

# すなっふスナツプ

### 旭福祉センター



←お菓子・陶芸色々あります。

## ナイスハートバザール



→花苗も大盛況！

→オムライスを選んだよ



### 買物実習

→水族館でお買い物



### あさひが丘学園

日中2科→

### あさひが丘学園



↓日中1科



↓日中3科



### 日活参 中動観



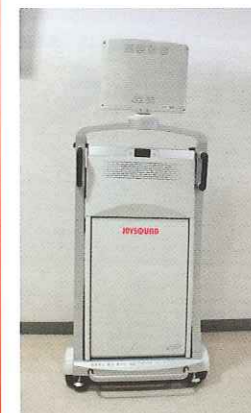
↑日中4科

↓楽しいカラオケの時間



### あさひが丘学園

カラオケ機材を寄贈して頂きました



↑大切に使います

## 新年会

カラオケも盛り上がりまして→

### 旭福祉センター

↓今年もよろしくお祈りします



### あさひが丘学園



↑みなさん 乾杯！



↑酒もめいめい

↓かんぱーい



↑新年会恒例。新任職員の余興